

匹見地域協議会（第2回）会議次第

日時 平成30年8月1日（水）14:00～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市）河上副市長・藤岡匹見総合支所長・藤井地域振興課長・田中地域振興課参事
塩満人口拡大課長、
齋藤分室長・藤本分室長・井上分室長・佐々木分室長
事務局

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）合併調整項目について <資料1>

4. 報告事項

（1）匹見峡温泉「やすらぎの湯」について <資料2>

5. その他

次回開催 平成30年 月 日（ ） 時 分～

主催者名	匹見総合支所地域振興課
会 議 名	平成 30 年度 第 2 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 30 年 8 月 1 日（水） 14 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出 席 者	・ 匹見地域協議会委員（10 名） ・ 河上副市長 ・ 匹見総合支所：藤岡支所長 - 地域振興課：藤井課長、田中参事 井上補佐、藤本補佐、佐々木補佐、斎藤補佐 大谷 - 人口拡大課：塩満課長

【会長あいさつ】

本日は合併調整項目のうち防犯灯の関係についてご協議いただくことと、温泉についての報告事項を議案としている。

【協議事項】

（１）合併調整項目について <資料１ 地域振興課長より説明>

- 前回の地域協議会で、防犯灯の管理については統一の方向で進めることとし前段として各自自治会に実態調査するという事で協議した。
- 自治会長会議で各自自治会長に実態調査の説明とお願いをしたところ、今時点での防犯灯の数は、台帳上で 375 機に対し-6 機となっている。
- その中で廃止可能な防犯灯は 20 機となっている。また、自治会や個人で設置した防犯灯数は 54 機という結果となっている。
- 方針としては、制度の統一を図り、自治会に管理を移管することによる電気代の負担増については、3 年間の激変緩和措置を講じることとしている。
- 今後の予定として、実態調査を元に自治会と協議を進めご理解を得るよう進めていきたい。

《質疑・意見》

- 平成 31 年度から防犯灯管理を自治会へ移管することは合併時の約束事だったのか。
 - ▷ 平成 17 年度から 3 年間かけて統一を図るということになっていた。
- 電気代以外の経費としてどの程度まで自治会の負担になるのか。
 - ▷ 蛍光灯であると玉替えなどの修繕費がかかる。
- 原則として自治会が管理するとあるが、例外とはどのようなものか
 - ▷ 公共施設の管理上必要な場合は施設管理者の管理として話を進めるべきだと考えている。
- 各自自治会に説明するにあたり、例外項目について統一した見解を示していただきたい。
- 合併調整項目のうち防犯灯以外で整理されていないものがあるか。公平に調整が進んでいる

のか。

- ▷ 大きな項目として自治会補助金がまだ統一されていない。これも3年間かけて徐々に統一できるように進めている。

【報告事項】

(1) 匹見峡温泉「やすらぎの湯」について <資料2 地域振興課参事より説明>

- (株) ひきみの平成29年度実績状況については、本年2月の大雪の影響等があり入浴施設は前年度比3,164人の減、宿泊は前年度比249人の減。匹見峡レストパークおよび匹見中央公園については微増。
全体の収支については、売上高の減少、光熱水費や販売管理費等の増加により収支が大幅に悪化した。
- 平成30年度第25期の事業計画は、匹見峡温泉については、イベントなどの情報発信とスポーツ団体の合宿等の誘致など誘客の強化、匹見峡レストパーク及び匹見中央公園については大学サークルや企業の研修など滞在型の利用促進の営業活動を継続しながら、ヤマメの釣堀などを活用した体験プログラムなどの提供により利用者の拡大を図っていく。

《質疑・意見》

- 火曜日も定休日にするとなっていたが、実際には営業している日もあった。
定休日を週2日に増やして売り上げを伸ばすことは無理があるのではないのか。
従業員確保ができているのか。
 - ▷ 繁忙期についてはこれまで同様営業を行っており、定休日のお知らせを全戸を対象に行っている。
従業員の募集も引き続き行っているが応募がない。
- 温泉のバイオマスボイラー導入の効果が見えてこない。
匹見中央公園野球場の利用者が増えているのは大変喜ばしいことであるが、それを温泉の利用者増につなげることは考えているのか。
 - ▷ バイオマスボイラー導入により、灯油の量は減っているが、灯油単価の上昇や電気料が高額となっているので全体として経費が増えている。
 - ▷ 野球をされる方からすると本球場と練習会場のセットを希望されるので、多目的広場をグラウンドゴルフ場にするには非常に難しいと思われる。
全体的に匹見地域の入込客数を増やす取り組みは会社も市も考えていきたい。
- グランドゴルフ場については、中山間整備事業の関連で萩原に市単独で整備することとなっていたが実現していない。
その代替案として多目的広場をグラウンドゴルフ場にするという案が出ているので温泉経営の打開策としては是非取り組んでいただかなければならない。
- 多目的広場の一部をグラウンドゴルフ場にすることも考えてみてはいかがか。
 - ▷ 多目的広場の活用方法について今一度考えさせていただきたい。
- レストパークの釣堀とは何か。また年間通して行っているのか。
 - ▷ レストパーク敷地に隣接している施設を借りて春祭り時に釣堀として利用したが、養殖技術はまだ指導を受けてる段階。
 - ▷ 温泉は匹見地域のみなさん方の宝、特に健康増進ということを目標にして作った施設であるので、匹見の方々と一緒に盛り上げていただくようご協力をお願いしたい。

【報告事項】

- 市道澄川線は新澄川線の迂回路になっているが管理状態が悪い。
機構改革の在り方に関わることなので速やかな対応を願いたい。

- ▷ 市道澄川線については、法面の崩落に危険があるため全面通行止めとしている。
管理については早急に対応したい。
- 支所の機構改革を行ったのであるから支所だけでなく本庁も早急に対応すべき。